

学校だより

# 逢坂



大津市立逢坂小学校

人・自然と豊かに関わる子どもの育成

よく考える子ども

思いやりのある子ども

たくましい子ども

令和6年1月号 児童数465名

## あけまして おめでとうございます

保護者の皆様、地域の皆様、あけましておめでとうございます。昨年は逢坂小学校と、逢坂小学校の子どもたちを温かく見守っていただき、ありがとうございました。

今年度も残すところあと3ヶ月となりました。今後も子どもたちの健全育成のため、何かとご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

本年も昨年同様、何とぞよろしくをお願いいたします。

2024年1月 逢坂小学校職員一同



## 1月行事予定

※行事の変更がある場合は学年通信でお知らせします。

1	月	元旦 閉校日	17	水	2年身体測定
2	火	閉校日	18	木	わかば身体測定 大津市特別支援学級・学校作品展～24日まで(歴史博物館)
3	水	閉校日			
4	木	閉校日	19	金	食育の日 1年身体測定
5	金		20	土	
6	土		21	日	
7	日		22	月	4～6年6校時日課 百人一首週間、校内書写展,給食週間(26日まで)
8	月	成人の日			
9	火	始業式 3校時 11:35 下校 登校指導	23	火	授業参観 2, 3校時
10	水	避難訓練 3校時 11:35 下校 口座振替日	24	水	下校指導 教育相談日
11	木	給食開始 5校時日課 6年身体測定	25	木	
12	金	5校時日課 5年身体測定	26	金	
13	土		27	土	
14	日		28	日	
15	月	委員会 登校指導 4年身体測定 教育相談日	29	月	クラブ活動
16	火	ブックママ・パパ 3年身体測定	30	火	5校時日課
			31	水	「和のじかん」5年 エンジョイ活動



◎2月の主な予定; 2/1(木):3年生校外学習 2/2(金):学校運営協議会開催のため5校時日課  
2/16(金):1～5年・わかば授業参観(2, 3校時) 2/20(火):6年生授業参観(5, 6校時)  
※校外学習、授業参観については、後日詳細をお知らせします。

### 【PTA 広報誌第2号発行にかかる写真掲載について】

P T A 広報誌第2号に、今年度の思い出として学年や学級の学校行事等における写真掲載を検討されています。掲載に支障がある場合は、1月19日(金)までに担任を通じてお知らせください。

元日に起こった能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます…。

阪神・淡路大震災が起こった 1995 年 1 月 17 日。朝の 5 時 46 分、私は地鳴りで目が覚めました。直後に大きな揺れ。滋賀県は震度 5 でした。壁に掛かっていた絵が外れて落ち、幼児だった二人の我が子に倒れてこないようにタンスを足で支えながら覆い被さったのを覚えています。兵庫を中心に 6,434 人が犠牲となり、未だに 3 人が行方不明のままです。

私は兵庫県内の大学出身です。多くの友だちや知り合いが兵庫で教員をしていたので、被害が少なかった滋賀の我々には計り知れない苦労があったと思います。中には、テレビが倒れて生後間もない我が子に当たって亡くなったけれども、歯を食いしばって市民の避難所となった学校に出勤していた先生もいました。

震災後しばらく経ってからの数日間でしたが、私は西宮北中学校に開設された避難所にボランティアに行きました。向かう途中、道路をふさぐように横倒しになったビル、空襲後のように一面焼けた茶色い街を見て衝撃を受けました。ボランティアの仕事は、徐々に全国から集まるようになった救援物資の仕分けと配付、仮設トイレの掃除と消毒、崩れた家に取り残された飼い犬の散歩などでした。善意で送られた物資の中には、一斗缶に入ったナタデココや大量の醤油など、分けようがなかったり今は必要ではないものが多数あったりしました。また、夜には体育館を出て徘徊される高齢者もおられました。善意の難しさや、避難所の現実を目の当たりにしました。

震災はいつか必ず起こります。子どもたちが生きていく間にかなりの確率で東南海大地震が起こるでしょう。地震そのものは止められませんが、自分や家族、周囲の人を守る「減災」は可能です。自分にはどんなことができるか、すべてを想定しておくことは難しいでしょうが、ご家族でも一度、話し合っておかれてはいかがでしょうか。

下記の詩は、宝塚市の先生が当時担任していた小学生が「震災の記憶を残すことが僕たちにできるボランティアや！」という気持ちで、震災後数年にわたって綴った詩の一部です。貴重な取り組みです。転載を快諾してもらいました。こうした出来事を私たちは忘れてはならないのです。

## 「30分でおおちがい」

94年度6年 ●本 ☆美

車でしんせきの家へひなんした。  
 始めのほうは、家がつぶれてた。  
 でも30分も走れば、  
 きれいなおうちがならんでいる。  
 ムカーッ。  
 さらに行くと、  
 地震なんか知らないよ、  
 って感じで学校行ってる。  
 でもうらやましい。

## 「たすけたストーブ」

97年度6年 ●嶋 ☆

地震の時  
 お母さんの前にあった  
 大きなたんすがたおれてきた  
 あぶないと私は心に感じた  
 頭までふとんをかぶった  
 そっとお母さんを見た  
 私はおどろいた  
 ストーブがちょうど  
 たんすをささえてた  
 お母さんはたすかった  
 私は「ほっ」とした  
 あれから3年  
 そのストーブは  
 今でも使っている

## 「こわい家」

97年度6年 ●倉 ☆弥

地震が終わった後、  
 家にもどった。  
 家の中はぐちゃぐちゃになっていた。  
 まず、自分の部屋を  
 片付けることにした。  
 自分の部屋も終わり、  
 下の1階に行った。  
 その時、床をふむと  
 ギシッといった。ガクガクだ。  
 これだけだったらまだあんしん。  
 でも、片付けが終わって  
 イスに座ったらかべのすきまから、  
 むこうの光が見えた。  
 もう一度、地震が来たら  
 つぶれるかも。

「はやくふとんでねたい」

94年度6年 ●野 ☆子

早くふとんで  
手も足もグーンと伸ばして  
ねたいなー  
今はこたつでねてるけど  
いつになったら  
ふとんに  
手も足も伸ばして  
ねれるかな

「お父さん」

96年度5年 ●瀬 ☆輝

阪大震災が起こった5時46分  
ぼくはねていた。  
地震があったのでびっくりした。  
となりにねていたお父さんがぼくに、  
「だいじょうぶだよ」  
と言ってくれたので  
安心した。

「遊びたいなっ」

95年度5年 ●江 ☆郎

地震の時  
あまり外に遊びに行けませんでした  
それは、遊びに行っている間に  
地震が起きたらいけないから  
遊びに行けませんでした  
すごく遊びたかったです

「は～気持ちええ」

94年度6年 ●松 ☆介

おとといひさしぶりに  
ふろに入った  
体を洗って  
どっぴーんっと湯船につかったら  
は～気持ちええ  
ぐぐっと手を伸ばしたら  
なんか急に力がぬけたような感じが  
して  
気持ちよかった  
しばらくして、あったまって  
ふろから出たら すかっとした

「ほんの少しの時間」

97年度6年 ●木 ☆補

「あっ」  
体がふるえた  
心臓がバクバクしてる  
こわい　すごくこわい  
お姉ちゃんと手をにぎった  
声がだんだん大きくなって  
私の耳に入った  
一言だけ言った  
「だいじょうぶだよ」  
体が楽になった

「まるで、何事もなかったみたい」

96年度5年 ●上 ☆生

地震の後、ちかくのコンビニや  
スーパーなどには食べ物や飲み物が  
売っていいない。だから、まいづる  
の方に買い物に行った。とおいけど、  
すぐについたような気がした。そし  
て、カップラーメンなどを買って家  
へ帰った。  
とおいところまで行くと、何事もな  
かったようだった。

「近所の人」

95年度5年 ●田 ☆美

地震があってから  
ガスが出ない。  
毎日おにぎりやパンの生活が続いた。  
近所の人があげものをくれた。  
「ありがとうございます。」  
と言って食べさせてもらった。

「ありがとう」

96年度5年 ●林 ☆穂

お母さんとお父さんがかぶっている  
もうふやふとんを  
私の上にかぶせている。  
数分たった時これが地震だと思った。  
そしたら、お母さんとお父さんには、  
なにもふせぐものがない。  
でも、自分の命より  
子供の命が大切なんて  
そんなお母さんやお父さんがいて  
生まれてきてうれしかった。  
うれしくて、  
言葉にも出せなかった。

「スーパーへ買い物」

95年度5年 ●倉 ☆依

買い物に行ったら  
たくさん行列をつくっていた。  
「やっと買えた」と  
お母さんはすごくうれしそうだった。